

はあ〜てい

1月1日号

2014

「はあ〜てい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

笑顔が広がる子育ての仲間づくり 美都地域子育てサロン（月2回開催）



就学前のお子さんの家族や妊婦さんなどが集い、楽しみながら交流を深めています。

迎春



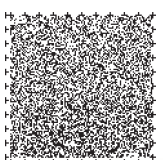
あけましておめでとございませう。皆様にはご家族お揃いで健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には、益田市社会福祉協議会の事業推進に、格別の支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年夏に豪雨災害に見舞われました皆様に、心からお見舞いを申し上げますとともに、被災者支援にご参加頂いた多くの市民の皆様へ、心から敬意と感謝を申し上げます。

第二期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画では、市内二〇ヶ所での市民福祉懇談会を経て、重点課題として『交通及び買い物等手段の確保』と、『地区別計画の具体化・小地域福祉活動計画の策定』の二つを掲げ、地域の福祉力を高めることとします。

『誰もが安全に安心して暮らすことが出来る地域社会』実現のため、頑張ってください。引き続き皆様からの温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、今年もご家族とともども、ご健勝で幸多き年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

- | | | | |
|------|-------|----------|----------|
| 会長 | 齋藤 眸 | 理事 | 永本 鶴枝 |
| 副会長 | 石本 建二 | 監事 | 原 伸二 |
| 常務理事 | 福原 正巳 | 顧問 | 山崎 善行 |
| 理事 | 石田 敏治 | 顧問 | 山本 尚 |
| 〃 | 岩本のりこ | 顧問 | 渡辺 隆 |
| 〃 | 大久保 稔 | 顧問 | 吉川 富男 |
| 〃 | 笹川 清 | 顧問 | 竹内 優機 |
| 〃 | 澤江 久介 | 顧問 | 本井 宗明 |
| 〃 | 竹田 和夫 | 顧問 | 田中 稔 |
| 〃 | 田中 敦 | 顧問 | 五十音順、敬称略 |
| 〃 | 中島 教祐 | 評議員・職員一同 | |
| 〃 | 中島 正紀 | | |



発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp

益田市社協 検索

福祉のまちづくりに向け参画と協力を



益田市市長
山本 浩章

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、平成二十六年の
新春を健やかに迎えのことと、心
よりお慶び申し上げます。

益田市社会福祉協議会におかれま
しては、福祉活動における中核組織
として、「人とのつながり」「地域と
のつながり」を深めていくため、多
くの団体の参加と協働のもとに、地
区社会福祉協議会活動、ボランティア
活動、福祉教育、高齢者・子育て
サロン活動など、地域福祉活動を展
開されていることに対しまして、心
より敬意と感謝を申し上げます。

昨年、市におきましては、社会福
祉協議会との協働事業として、第二
期益田市地域福祉計画・地域福祉活
動計画を策定しました。この計画は、
高齢者や障がい者、子どもといった
分野の枠を超えて、地域における課

題解決のため、地域住民、行政、社
会福祉協議会、事業者、ボランティ
アなどが一体となり、ともに支えあ
い、助け合う福祉のまちづくりを目
指すものです。今年も引き続き、社
会福祉協議会と連携し、着実に計画
の推進を図って参りたいと考えてい
ます。

安心して暮らせるよう地域福祉を
充実させていくためには、市民の皆
様の積極的な参画と協力が欠かせま
せん。市の財政は極めて厳しい状況
にあります。皆様の温かいご支援
をいただき、福祉関係機関との一層
の連携を図り、各種福祉施策を展開
してまいれる所存であります。

最後に、平成二十六年が、市民の
皆様にとって、幸多き年となります
よう、心よりご祈念を申し上げます。
頭のごあいさつと致します。

第31回益田市社会福祉大会

表彰及び感謝状受賞者

敬称略

おめでとうございます。
ますますのご活躍をお祈りいたします。

【表彰】

○社会福祉施設、地区社協・団体

等の役員での功績

- 佐々木千鶴 (木部町)
- 岩井 信雄 (幸町)
- 澁谷 傳 (高津六丁目)
- 阿部 和子 (高津四丁目)

○社会福祉事業における

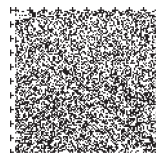
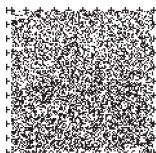
永年勤続功労

- 伏谷 一枝 (赤雁町)
- 橋本 清 (高津六丁目)
- 望月 浩幸 (久城町)
- 大内 里美 (喜阿弥町)
- 村上 美幸 (川登町)
- 牛尾真知江 (横田町)
- 安岡 敦子 (匹見町匹見)
- 佐々井恵子 (駅前町)
- 木原 照子 (美都町宇津川)
- 鼠谷 静子 (匹見町道川)
- 河野 公治 (中島町)

【感謝】

七尾和みの会

- 施設ボランティア「こころ」
楽 友 会
- 喜阿弥いきいき会
- 品川ウタ子 (横田町)
- 池田ミチル (匹見町匹見)
- 田原喜世子 (幸町)
- 瀧川 和美 (乙吉町)
- 齋藤 友見 (東町)



平成25年度 しまね県民福祉大会受賞者

しまね県民福祉大会が、11月2日(土) 島根県民会館で行われ、社会福祉に功績のあった方への表彰が行われました。

おめでとございます。皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。(益田市関係者、順不同、敬称略)

【県知事感謝状】

ボランティア活動功労
やじろべえの会
ファイブハーツ

【県社会福祉協議会会長表彰】

民生委員児童委員功労
粕田 貴隆 (匹見町落合)
石田 元 (大谷町)

永年勤続功労

高橋 洋子 (高津一丁目)
稲岡 裕子 (三宅町)
石川つき江 (久城町)

【県社会福祉協議会会長感謝】

社会福祉事業協働者
益田地域精神保健ボランティア
「こもれび」

【県民生児童委員協議会会長表彰】

永年勤続民生委員児童委員功労
佐々木 都 (幸町)

【県身体障害者団体連合会会長表彰】

一般功労

安部 利一 (飯田町)



第31回益田市社会福祉大会

11月22日(金)、益田市総合福祉センターにおいて、福祉関係者や一般市民など約230名が参加し、大会を盛大に開催しました。

大会では、益田市の福祉の発展に貢献された個人、団体に表彰状や感謝状が贈呈されました。

続いて、少年の主張益田市大会で、優秀な成績を収めた中学生3名に発表していただきました。

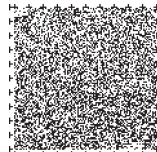
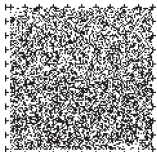
学校や家庭生活での体験をもとに、『今を生きることの大切さ』や『これからの夢』について、少年らしい爽やかな発表をし、会場一杯の大きな拍手が送られました。

次に島根県中山間地域研究センターの藤山浩氏に、『元気の出る地元の創り直し』と題して講演いただきました。

人口減少や少子・高齢化が進行し地域が衰退する中で、地域資源を活かした地域再生と、定住化促進のための取り組みについて、県内外の事例を踏まえて、ユーモアを交えてわかりやすくお話しいただきました。

これからの『田舎』の特色を活かした地域づくりにおいて、『あわせわざ』などのヒントとともに、『元気』もいただくことができそうです。

最後に地域福祉の推進に邁進することを誓い合って、大会宣言決議を行いました。



第2期 益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定しました

『みんなで支えあい、助けあう福祉のまちづくり』を基本理念として、第2期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画（計画期間：平成25～29年度）を益田市と益田市社会福祉協議会が一体となり平成25年10月に策定しました。計画推進にご理解とご協力をよろしく申し上げます。

1. 計画の目的

この計画は、社会環境が変化する中で、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、誰もが安心して自立した生活を送ることができる環境づくりをめざすもので、『自助・共助・公助』があいまって、地域住民、行政、社会福祉協議会、事業者、ボランティアなど、地域福祉に関わる全ての人が一体となり、みんなで支えあい、助けあう福祉のまちづくりをめざします。

地域福祉活動計画

(益田市社会福祉協議会)

益田市社会福祉協議会が呼びかけ、地域住民、関係機関・団体、ボランティア、NPO等の住民参加のもとで、地域課題の明確化と解決策の協議を行い、その解決に向けた具体的な行動方針を定めた計画です。

地域福祉計画

(益田市)

「益田市総合振興計画（新市建設計画）」の基本構想に即して、高齢者福祉、障がい者福祉、子育て・児童福祉等各分野の施策を地域福祉の観点から横断的かつ効果的に推進する役割を持つ計画です。

連携

反映

小地域福祉活動計画

(市内20地区)



市内20地区で行われた地域福祉市民懇談会では、地域での生活・福祉課題について積極的に意見を交換しました。

2. 重点課題

昨今の社会情勢と、本市における地域福祉の状況、そして各地区で行った地域福祉市民懇談会の結果を踏まえ、特に解決を図るべき重要な課題です。今後、具体的な施策の実現の為に取り組んでいきます。

- ①交通及び買い物等手段の確保
- ②地区別計画の具体化・小地域福祉活動計画の策定

3. 計画の基本目標

基本理念の実現をめざし、地域福祉を推進する為に基本目標に沿って具体的な施策の展開を図ります。

基本目標Ⅰ 地域福祉の担い手づくり

- I-1 学校での福祉教育の推進
- I-2 地域での福祉教育の推進
- I-3 ボランティア、NPOなど市民活動の育成、支援
- I-4 福祉意識の醸成と啓発

基本目標Ⅲ 多様なサービス提供の仕組みづくり

- Ⅲ-1 相談体制とサービス提供体制の充実
- Ⅲ-2 情報の提供体制の充実
- Ⅲ-3 利用者主体のサービス実現

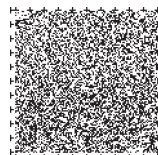
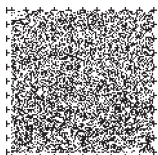
基本目標Ⅱ 地域福祉のネットワークづくり

- Ⅱ-1 住民主体による地域福祉活動の推進
- Ⅱ-2 緊急時・災害時に備えた地域のネットワークづくり

基本目標Ⅳ 暮らしを支える環境づくり

- Ⅳ-1 就労支援と地域での働く場づくり
- Ⅳ-2 交通及び買い物等手段の確保
- Ⅳ-3 バリアフリー、ユニバーサルデザインのまちづくり

計画の詳細については、市および社協のホームページに掲載する予定です。



5 はあてい

- (故) 齊藤 馨 (遠田町) 金一封
- (故) 中島 茂 (市原町) 金一封
- (故) 岡崎 四郎 (白上町) 金一封
- 瀧川 和美 (乙吉町) 二十万円
- 竹岡 茂子 (高津二丁目) 金一封
- 山縣 節子 (高津一丁目) 金一封
- 熊谷 文子 (美濃地町) 金一封
- 竹内 邦枝 (喜阿弥町) 金一封
- 村上 弘幸 (長沢町) 金一封
- (故) 石川 良樹 (横田町) 金一封
- 原田チエコ (乙子町) 金一封
- 永岡 清美 (東町) 金一封
- (故) 藤井 功子 (高津五丁目) 金一封
- 秀浦 真吾 (遠田町) 金一封
- (故) 宇津 誠一 (昭和町) 金一封
- 澤江 昌枝 (遠田町) 金一封

【香典返し】

(平成25年10月1日～平成25年11月30日)

善意の輪

敬称略

- (故) 村上 芳子 (木部町) 金一封
- (故) 大畑 早美 (中島町) 三万円
- 岩本 久子 (中垣内町) 金一封
- 廣兼 幸夫 (遠田町) 金一封
- (故) 斎藤千枝子 (横田町) 金一封
- 野上 益男 (横田町) 金一封
- 島田 論 (津田町) 金一封
- 佐々木秀二 (下種町) 金一封
- (故) 土佐タエ子 (美都町板井川) 金一封
- (故) 吉田 幸一 (美都町仙道) 金一封
- (故) 山崎ハマヨ (匹見町紙祖) 金一封

【一般寄付】

- ラスベガス益田店 (八万四千五百三十三円)
 - 大谷 梅子 (匹見町匹見) 金一封
- 皆様から寄せられました善意の寄付金は、ご意志に沿って、地域福祉活動事業費や福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



社協特別会員へのお礼

社協の特別会員として、次の企業・団体のご賛同をいただきました。大変ありがとうございました。
(12月5日現在、順不同・敬称略)

- 島根県歯科医師会益田鹿足支部 (株)昭和測量設計事務所 (有)データデスク社
- (株)右田本店 (株)高津自動車修理工場 深山の郷加工グループ 匹見歯科診療所
- (有)中田自動車整備センター ウッドペッカー木工組合 斎藤建設(有) (有)源拓工業
- 松谷商店 匹見峡温泉やすらぎの湯 新光プロパン瓦斯(株)匹見販売所 青木建築
- 日出来屋酒店 森本商店 (株)萩の会 西いわみ農業協同組合匹見支所 中村医院
- 久保商事(有) 前田建設(有) (株)HITOMARO保険センター (有)蔵本建設
- (有)柴田電業

ふれあい福祉相談所のご案内 1月・2月の相談日

場所：益田市総合福祉センター

		無料法律相談13:00～15:00 (要予約) 担当弁護士	ふれあい福祉相談 10:00～15:00	老人母子相談 10:00～15:00
1月	10日(金)	益田ひまわり基金法律事務所 (真鍋弁護士)	10日(金)	10日(金)・24日(金)
2月	14日(金)	山陰リーガルクリニック (山本弁護士)	14日(金)	14日(金)・28日(金)

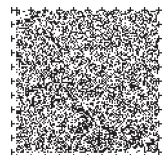
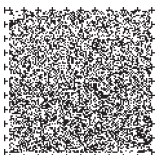
上記相談日以外でも専任相談員がお受けします。
「こんなこと話していいかな?」「今はいいけど、もし何かあった時はどうなるの?」
「身近に話す人がいないから聞いてみようか。」
どんなことでもかまいません。出かけることのできない方はお電話でもお受け致しますので、お気軽にご相談ください。

ふれあい福祉相談所

(益田市社会福祉協議会内)
(月～金 8:30～17:30)
TEL 22-7256

福祉センター調理実習室改修工事のお知らせ

益田市総合福祉センターの調理実習室は、調理設備の改修工事のため、平成26年1月31日から平成26年3月31日(予定)までご利用になれません。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。



生活福祉資金 貸付制度のご案内

この貸付制度は、他の資金からの借入が利用できない収入の少ない世帯、障がい者や高齢者のいる世帯に対し、民生委員や社会福祉協議会が相談に応じ、経済的安定や社会参加、在宅福祉の推進を目的としています。

総合支援資金 失業などで、日常生活に困難を抱えている方の、生活の立て直しのための継続的な相談支援と、生活費及び一時的な資金の貸付により、自立が見込まれる世帯への貸付資金

- 生活支援費：生活再建までの必要な生活費用 〈2人以上〉月20万円以内、〈単身〉月15万円以内
- 住宅入居費：敷金・礼金等住宅の賃貸契約に必要な費用 限度額：40万円以内
- 一時生活再建費：生活再建のための一時的な費用 限度額：60万円以内

福祉資金 収入の少ない世帯、障がい者及び高齢者の世帯に貸付により自立が見込まれる資金

緊急小口資金 病気、事故及び火災などにより、緊急的に生活費が必要なとき

教育支援資金 収入の少ない世帯に対し、高校や大学などの就学に必要な経費

- 教育支援費 ①高校 月3.5万円以内 ②高専 月6万円以内
- ③短大 月6万円以内 ④大学 月6.5万円以内

○教育支度費 入学に必要な経費 限度額：50万円以内

不動産担保型生活資金 収入の少ない高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保に生活資金を貸付ける資金

ご利用に際して

- ・他の貸付制度が利用できる場合は対象となりません。
 - ・所得制限があります。個人ではなく「世帯」が対象となります。
 - ・貸付金額、貸付利子、返済期間などは資金の種類により異なります。
- ※詳しいことは、各地区民生委員または益田市社会福祉協議会（☎22-7256）にお問い合わせください。

くまびき学園(西部校)新入生募集 — 高齢者の学びと交流の場

2年間の学園生活で、生きがい・仲間づくりと、地域活動参加のための知識習得をしてみませんか

●出願対象 島根県内在住の平成26年4月1日現在で満60歳以上の方（満60歳以上の方が定員に満たない場合は、満58歳以上も対象）地域活動に関心があり、卒業後に参加する意欲のある方

●会場 いわみーる（浜田市） ※東部校（松江市）でも募集中です

●授業料等 入学金1万円 授業料年額1万8千円 その他資料代・教材費別途

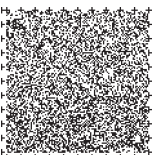
●修学期間 2年間（4月から平成28年3月まで） ※年間の登校日数は40日程度

●内容 総合講座及び専門講座（社会文化・園芸・陶芸・健康福祉の4科から選択）

●募集要項・願書 益田市社会福祉協議会または左記の学園事務局で配布します

●受付期限 平成26年2月28日（金）まで

●事務局 くまびき学園西部校
Tel 085512419336
〒69710016
浜田市野原町一八二六一



益田・鹿足成年後見センター研修会

目的 権利擁護の視点から、成年後見制度についての基本的な理解を深め、現状と課題について、地域全体で共有し考える。

◆日時 平成26年2月8日（土） 13:30～16:00

◆場所 益田市人権センター 多目的ホール（益田市須子町3-1）

◆講義 『成年後見制度の現状と課題』 山田さくら先生（弁護士）

◆参加対象 一般（150名まで） 参加費無料 要約筆記・手話通訳あり。

◆申込方法 電話にて、益田市地域包括支援センター（Tel 31-0245）まで

◆申込締切 平成26年1月16日（木）

